

「想像を形にしてみよう！～芸術と読書が紡ぐ親子の時間～」



11月27日(土)

県内在住の小学生とその保護者を対象とした主催事業「想像を形にしてみよう！～芸術と読書が紡ぐ親子の時間～」に7家族18名が参加しました。栃木県立美術館からスタートです。



開講式の後には企画展「名画でたどる西洋絵画400年 珠玉の東京富士美術館コレクション」の展示作品をビンゴカードを活用しながら鑑賞しました。ビンゴカードに書かれた「きらきら」や「カッコいい」、「ほしい」などのワードにぴったりの作品をそれぞれの参加者が鑑賞しながら見つけていました。



鑑賞後は集会室に戻って、作品をプロジェクターで映しながら感想の発表を行いました。どうしてその絵を選んだのか、作品を鑑賞し、それぞれの参加者が感じたことを発表しました。学芸員の方から作品の説明もしていただくことで、さらに学びが深まりました。



午後は、芳賀青年の家での活動です。最初の活動は、親子で楽しむ世界の絵本として、司書ボランティアから県立図書館の西洋絵画に関する本や絵本の紹介、益子図書館友の会からは絵本の紹介に加えて読み聞かせもしてもらいました。



本の紹介、読み聞かせの後には自由に本を選んで、親子での読書の時間です。秋の深まる益子の自然を感じながらゆったりとした時間が流れていました。



第1日目夜の活動は、サツマイモのつるを使ってのクリスマスリース作りです。親子で協力してリースを作った後、松ぼっくりやリボンなどを組み合わせて飾りを付けました。素敵な作品がたくさんできあがりました。



11月28日(日)

2日目は、手びねり陶芸です。親子で2日間の活動を振り返りながら、どんなものを作ろうか相談してから作品作りに取り組みました。



参加者の皆さんの想像が形になって思い思いの作品ができあがりました。焼き上がりを楽しみにしていただきね。



参加者の皆さん、2日間お疲れ様でした。次年度も、皆さんに楽しく学んでいただける事業を計画していきたいと思えます。楽しみに待っていてくださいね。